

平成18年度予算の主要事業

(1) 子育て支援策

未来を担う子どもたちが健やかに育つよう、子育て支援策を展開する。

放課後児童クラブへの運営費等の助成を拡充し、利用者負担の軽減を図ります。
平成20年度の開設に向けて浦和区東仲町に児童・高齢者複合施設を整備します。
新たに大和田駅前に地域子育て支援センターを開設します。



(2) 市民の安心・安全と快適環境の確保

市民が安心して暮らせる、安全で快適な生活環境を確保する。

新たに不審者情報や防災情報などを携帯メールに配信します。
市立のすべての小学校・養護学校に民間の警備員を配置します。
自動体外式除細動器(AED)を公共施設等に整備します。



(3) 福祉の充実と健康増進の支援

市民が健康で、生き生きと生活できるよう、保健、福祉、医療の充実を図る。

全身性障害者に対して、夜間・早朝に介助人を派遣します。
平成20年度の開設に向けて(仮称)さいたま市民医療センターを整備します。
平成19年度の開設に向けて中央区鈴谷に(仮称)保健衛生会館を整備します。
平成19年度の開設に向けて桜区田島に療育センターを整備します。



(4) 地域経済の活性化

市内企業の振興、ベンチャービジネスの育成、起業家への支援、企業誘致など地域経済の活性化策を展開する。

地域経済の活性化及び雇用の創出を図るため、積極的に本市へ企業を誘致します。

(6) 市民サービスの向上

市民サービスの向上に向けた積極的な施策を展開する。

コミュニティバス路線の見直し及び岩槻区に新たに路線を開設します。
区民と協働して、区独自の特色あるまちづくりを推進します。
平成18年4月に片柳コミュニティセンターを開設します。



(5) 地域資源の活用とスポーツの振興

地域資源の活用とスポーツの振興を通して、まちづくりを推進する。

平成19年度の完成を目指し大宮公園サッカー場を改築します。

指扇中学校の夜間の校庭開放を行うため、照明設備を設置します。

平成19年度の開館に向けて(仮称)鈴谷地区公民館を整備します。